

# ～はなのえん～

# 花園

筆：桑原 美佐子様（やまぶき入居者）

人との繋がりを  
大切に

特別養護老人ホーム山科積慶園  
プロアリーダー 仲村 拓人



桜が咲く季節となり、暖かい陽気も続くようになっていましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。ここにちは。5階プロアリーダーの仲村です。昨年度はコロナウイルスが流行し、外出の自粛や家族様との面会制限など、入居様にとっても大変苦しい1年となりました。少しでも早く落ち着いて、普段の生活に戻れるよう願っています。私自身も家で過ごす時間が続く中で、様々なことを考えました。今、改めて思うのは人との繋がりの大切さです。

私自身のことで考えると、たくさんの入居者様との出会い、新人の頃から育ててくださった上司の方々など、すばらしい人達と出会い成長させていただきました。今では入居様や5階スタッフはもちろんのこと、山科積慶園に関わる全ての方に支えられて日々介護の仕事ができます。本当に感謝しかなく、人と繋がることの大切さを実感しています。

介護の仕事は、ご家族様や、日々の生活を支えているケアスタッフ、医療的ケアを行う看護師や医師、リハビリを行う機能訓練士、栄養を考えて生活を支える栄養士、これから暮らしをプランするケアマネージャーなどたくさんの方が入居者様を中心として繋がっています。

「一人ではない。みんなが居て、繋がっている。」ということを忘れずにこれからも介護に取り組んでいきます。

発行責任者

社会福祉法人積慶園  
特別養護老人ホーム山科積慶園  
施設長 石黒 善治  
京都市山科区北花山大林町34番地  
電話(075)583-6277 FAX(075)594-2101

第35号 発行日：令和3年 4月 1日

一人一人に合った  
支援を

特別養護老人ホーム山科積慶園  
ユニットリーダー 廣瀬 恵子



こんにちは。2階やまぶきのユニットリーダーの廣瀬です。冬の寒かった日々が、日ごとに暖かく、穏やかな日差しになり、春の訪れを感じる季節になってきました。ここ何年かは1年がとても速く過ぎていくのを感じます。山科積慶園開所より働かせていただき、同じ時を刻んで13年目を歩み出していますが、何年介護の仕事をしていても難しく、悩むことも沢山あります。初心を忘れずにこれからも歩んでいきたいと思います。

昨年からテレビを点けても新聞を広げても新型コロナウイルス等、気持ちが沈むような話が多いですが、それでも入居者様のちょっとした日々の会話や笑顔、労いの言葉、言葉数が少ない入居者様が、いつもより多くお話ししてくださると、とても嬉しく頑張れる力と元気をもらっています。入居者様も日により、気分の落ち込みがある方もおられます。そんな時は、傾聴や入居者様の思いは何かと一緒に考え、今という時を1日1日大切にし、入居者様が安心して元気に笑顔で過ごしていただけるように努めていきたいと思います。そしてユニット職員と共に寄り添い、お一人おひとりに合った支援をこれからも続けていきたいと思います。

## 《開設記念行事》

人の集まる行事やイベントが出来ず、毎年行っていたマグロ解体ショーも中止となりましたが、にぎり寿司は提供しました。今年は新たなネタとして穴子、ぶり、うに、ホタテ、しめ鯛を追加し、本まぐろ、サーモン、赤エビ、いくら、鯛の全部で10貫盛り合わせにして提供しました。にぎり寿司を食べる時は茶碗蒸しも赤出汁も食べたいという意見が多くだったので、思い切って両方提供する事にしました。入居者様より「ネタがたくさんあってどれを



食べようか迷いながら食べた。「こんなにいっぱい食べられないと思っていたけれど、ついつい食べて完食しました。美味しかった。ありがとう。」と喜んでいただけました。入居者様の満足そうな様子を見ると、にぎり寿司を提供できて良かったと思いました。（野崎）



## 《クリスマス会》

今回のクリスマス会はコロナ禍と言う事もあり、各フロアでの対応となりました。ケーキ作りも最後の飾りつけのみ利用者様にしていただきました。トッピングを手に取り、ご自身のケーキを飾り付けされている時はとても楽しそうな表情をされ、周りの職員もうれしかったです。ケーキを召し上がる時も「おいしいわ」とおっしゃりながらワイワイと楽しんでおられました。



その後、サンタになった職員からプレゼントを一人ずつ受け取られ、袋を開けておられる時のキラキラした目元や表情がとても印象的で私達職員も心が和みました。（小島幸）



## 《もちつき》

12月28日に毎年恒例のお餅つきを行いました。お餅つきを行うにあたり、お餅つきの意味や由来を調べてみました。



新年を司る「年神様」が元日にやってきて、新年の魂（年魂）を授けてくれます。ここでいう魂とは、生きる気力のようなものです。年魂の象徴が、丸い形をした「鏡餅」です。三種の神器に「八咫の鏡」のように、鏡は神様の象徴でもあったため、丸い形をした昔の鏡を神聖なお餅で表すようになり、鏡餅と呼ぶようになりました。

コロナ禍での実施となり、今年は鏡餅用のお餅しか作ることができませんでしたが、入居者様が上手に丸めてくださり、立派な鏡餅を各ユニットに飾る事ができました。お餅つきの意味を改めて考えると、今年も実施して良かったと思いました。（橘）



## 《節分》

今年も職員が鬼の役をし、節分のレクを行いました。突如現れた鬼に入居者様は驚き、「鬼がきたー」と勢いよく、豆に似立てた新聞紙の玉を鬼に向かって投げつけます。他の職員も利用者様に混ざり「鬼は外、福は内」と叫びながら鬼に玉を投げつけます。鬼はタジタジ。「参ったー」と逃げていきました。今年も皆様にとっても福がたくさん来る一年ありますように。(藤野)



## 《百寿祝いの会》



四階ふじユニットの入居者様お二人が百歳を迎える為、3月25日に合同の「百寿祝いの会」を開催しました。隣ユニットの入居者様にもお祝いして頂き、喜ばれておられました。ユニットでプリンアラモードを作り、「うわあ、美味しいそうやなあ。」と見て喜び、「美味しいわあ。」と食べて喜び、大満足されたご様子でした。これからも素敵な笑顔で日々を過ごしていただきたいと思います。(浅原雅)



## 医務室だより ~~ マスクの選び方 ~~



ウイルスの飛沫感染予防や花粉症対策にマスクを着用する機会が増えています。

どのような、マスクを選べばいいのでしょうか？

- ① 不織布マスク ウィルスの飛沫感染予防や花粉症対策などに適し、ずれにくくフィットしやすい。
- ② ガーゼマスク 喉の炎症や風邪予防に多く使われている。適度な通気性があり保湿効果が高く、口腔内や喉に潤いを与えることができ、肌触りが優しい。
- ③ 医療用（N95）マスク 元々は産業用として使用されていたが、最近はウィルス対策に効果があり、医療現場などでも広く使われている。価格が高く、密閉性が高いので息苦しいのが難点。

※スポンジタイプのマスクは花粉には効果があるが、ウィルスやPM2.5などの粒子は通してしまうので、ウイルス対策には、効果がない。その他にも冷感や保湿効果などに対応したもの等、色々な種類のマスクがあります。時期や感染状況を確認しながら使い分ける事をお勧めします。なにより、顔にフィットしていることが重要ですのでご自身にあったものを選んでください。

## 《ひなまつり》

毎年雛祭りの日は職員と一緒に

- ちらし寿司を作っていましたが、今年は雛人形と一緒に作りました。作る人によって様々な表情や形の雛人形が出来て皆様とても喜んで下さり、それぞれ各お部屋に飾りました。又、施設で飾っている大きな雛人形を見て頂き昔を懐かしまれる方や、大きさに驚かれる方おられました。今回作った雛人形の様に笑顔で楽しい日々をお過ご下さい。(武田)



## 《濱田様入賞おめでとうございます！》

先日、日本福祉ネットワーク協会主催の俳句コンテストがおこなわれ、入居者の濱田昌子様の作品が見事入賞されました。

濱田様おめでとうございます！！



ここへ来て  
ゆっくりすごせる  
みがうれし



# デイサービスセンター ぬくもり

## 4ヶ月の行事

### 《12月：クリスマス会》

令和2年は感染症の影響により、行事の規模を縮小したり、開催ができないものがありました。クリスマス会も例年とは違う形で一人ひとりが出来るゲームで楽しんでいただきました。bingoゲームでは賞品が当たると皆さん笑顔で景品を受け取ってくださいました。忘年会もいつもなら、職員が扮装をしてカラオケを歌ったりするのですが、やはり縮小して行ないました。今年はいつものようにぎやかに出来たらいいなと思います。



クリスマスケーキはみんなでおいしくいただきました。

### 《12月：クリスマスリース・正月飾り製作》

今年のリースは色紙でパーツを8個作って組み合わせて作りました。折り方の方向が違うと上手く重なっていかなかつたりして悪戦苦闘の場面もありましたが完成すると、シックで上品な仕上がりのリースにご利用者様も満足のご様子でした。お正月のミニ飾りは簡単で見栄えの良いものが出来ないかと考え、ラミネートしたフィルムを芯にして和柄のテープを貼り、丸窓のイメージでお正月らしい飾りを付けました。簡単でしたが、意外に可愛い仕上がりで喜んでいただけました。



クリスマスリース

正月飾り

### 《1月：初詣》

毎年、初詣はお参りの帰りに外食をしていましたが今年はお参りのみで外食は控えての初詣となりました。折上神社へは車なら5、6分で到着するので、ゆっくりとお参りする事が出来ました。御利用者様が楽しみにしている外食が出来なかったので、12月と2月にはお弁当や丼ぶりの出前を取って美味しくいただきました。早くみんなで買い物や外食に行けるようになる事を祈っています。



折上神社にて記念撮影

### 《3月：ひな人形製作》

今年のひな人形の製作は、紙コップで作る物を参考にしてコーヒーのインサートカップの丸みを利用し、和柄を印刷した紙をくるっと巻いて簡単に作れるように工夫しました。丸いボディがふっくらと可愛らしいお雛様ができ、御利用者様も大満足のご様子でした。職員も自分用に作って自宅に飾っています。



かわいいひな人形ができました。



壁面製作

### \*・\*・\*・\*・編集後記・\*・\*・\*・\*

今年の桜は例年より早く開花を迎えるました。入居者様にも見て、春を感じてほしいですが、一変した生活の中、今は自由に外出することができません。入居者様とニュースと一緒に見ながらお話ししますが、今まで経験のない緊急事態宣言の説明は難しいです。面会制限の中、入居者様とご家族様が早く自由に会える事を願うばかりです。（大屋）